

美しい山・川・海 人が躍動する 交流と共生のまち



香美



平成 25 年 (2013)

月号

No. 101



【写真】

－ 夜空を焦がす「光の大輪」－

第 36 回香住ふるさとまつり 海上花火大会

7月27日夜に行われた、香住ふるさとまつり最大の呼び物「海上花火大会」。連続して打ち上がるスターメイン、夜空を埋めつくす大玉など約2,500発の光の大輪が夜空を焦がしました。(本号11ページに関連記事を掲載)

今月の主な内容 (Contents)

- 2 まちのうごき
愛育ってなあに? ～愛育班の取り組み～
- 4 まちからのお知らせ
ふるさと納税制度のご紹介
公立香住病院の職員募集
役場各課などからのお知らせ ほか
- 10 まちのできごと
- 12 ふるさとの誇りを訪ねて
(別冊 けいじばん、いきいきカレンダー)

愛育ってなあに？

～愛育班の取り組み～

●問い合わせ先 役場健康課

■心と心をつなぐ「懸け橋」

こんにちは、お元気ですか——
今日もどこかで愛育班員が元気な声かけをしています。

1人暮らしの高齢者からは「久しぶりに人と話をした。誰かが見守ってくれていると思うと、心強いものだ」。赤ちゃんを抱える母親からは「子育ての先輩からのアドバイスは、本当にありがたい。遠くから嫁いだので、寂しい思いをしたり頼れる人がいなくて不安になったりしたけど、もう大丈夫」。健診を勧められた人からは「自分の健康を心配してくれる人がいる。その人のためにも健診を受けたい」。こうしたさまざまな声が地域から聞こえてきます。

愛育班の活動は、地域住民の健康づくりのボランティア。そして、地域の連帯感を呼び覚ます「心と心、人と人をつなぐ懸け橋」です。

■安心して暮らせる地域を目指して

声かけ活動を通して、赤ちゃんから高齢者まで地域に住むすべての人々の健康を見守る、地域に密着した自主的な組織が「愛育班」です。また、そこで活動する人を愛育班員といいます。

愛育班は、昭和8（1933）年の天皇陛下のご誕生を機に設立された社会福祉法人恩賜財団母子愛育会が行った愛育村事業に由来し、当時、栄養不良や医療不足で死亡率が高かった乳幼児とその母親の健康・福祉の向上に取り組もうと、特に農山漁村の女性が自発的に見守り・声かけ活動を行い、地域保健の推進に多大な貢献をしました。

現在、少子・高齢化とともに愛育班の活動はさらなる広がりを見せ、その重要度もさらに高まっています。母子だけではなく、高齢者や地域の人を対象に、各班員が受け持ちの家庭を訪問・声かけを行い、そこで浮かび上がってくる一人ひとりのさまざまな健康や暮らしの問題を自分たちの課題として、共に手を携え、支え合う活動を行っています。



▲家庭訪問では、健康づくりのヒントなどをつづった班員作成の「愛育だより」を配って、健康増進を呼び掛けます。

【手記】

「愛育班活動を通じて感じたこと」

西村雅子さん



私たちが活動している香美町愛育班は、昭和59年頃から当時の浜坂保健所の指導のもと、隣の町だった旧美方町から活動が始まり、旧村岡町の射添、村岡、兎塚地区へと活動が広がってきたものです。

私は村岡地区の愛育班で当初から活動しています。組織ができるまでは大変さもありましたが、地域の皆様に深いご理解をいただき今まで続けてこられました。平成の大合併で近隣三町が合併したのを機に、平成17年7月に香美町愛育連合会が結成され、現在は班員121人で活動しています。

私が住んでいる地域は昔ながらの顔なじみも多いのですが、少子高齢化や核家族化が進み、近所との人間関係が希薄になりつつあります。そこ

で私たちは、自分たちで作った「愛育だより」を持って「こんにちは、お元気ですか」と、笑顔で声かけ訪問をしています。心優しい声かけを心掛け、地域の赤ちゃんから高齢者までを見守りながら健康づくりを進める地道な活動ですが「できる時に、できる者が、できる事をする」を心掛け、プライバシーにも充分に気を付けながら活動しています。

声かけ活動以外にも、「子どもは地域の宝ものです」として子育て中の母親との交流地域で行われるふれあいサロンのお手伝い、ボランティア活動への参加なども行います。ここでは班員個人の負担が大きくならないような活動を心掛け、先輩から受け継いだ「愛育の心」とも「しび」を大切に地域にあつた歩みを続けています。

数年前、私が住む地域に中国から働き者のお嫁さんが来られました。そのお嫁さんはご主人以外に顔見知りがない

そうした活動に取り組み班員は、県内15市町で1730人、町内では村岡・小代区を中心に121人にも上ります。

■優しい心で

一人ひとりを見つめる 「声かけ」

皆さんは近所に誰が住んでいて、どんな仕事をしているか。子どもが何人いるか、知っていますか。普段、あいさつを交わしていますか。地域コミュニティが薄らぎつつある今だからこそ、愛育班の活動の基本となっている「声かけ」は、大変貴重で大切なものです。

1人暮らしや寝たきりの高齢者の見守り、子育て中の母子とのふれあい事業や交流会を通じた「地域の子育て」の応援といった愛育班の活動も「声かけ」から始まります。

地域の健康・福祉を見守る愛育班員が一堂に集う！

県内の班員が一堂に会し、活動報告や特別講演を通して交流を深めるとともに愛育班活動をさらに広げようと6月14日、香住区中央公民館で「第31回ひょうご愛育の集い」（兵庫県愛育連合会が主催）が行われ、約470人が参加しました。

席上、これまでの愛育班活動の実績や功労をたたえ、1団体2班員に兵庫県知事表彰（町内受賞者は1人）が、10班員に連合会長表彰（町内受賞者は4人）が贈呈されました。そして、4月17日に東京都の明治記念館で行われた第45回愛育班員全国大会において「愛育班員の手記」入選作に選ばれた香美町村岡区愛育班の西村雅子さん（村岡区萩山）の手記

■広げよう「愛育の心」

愛育班を取り巻く状況は必ずしも良いとはいえません。班員の高齢化、重要な役割を担っているにも関わらず認知度が低い、後継者が不足しているなど問題を抱えています。しかし、地域に根ざした愛育班の活動は今後ますます必要となります。

地域の皆さんが「仲良く、明るく、楽しく」過ごすがすがしく、地域の「元氣力」アップにつながります。

愛育班活動は「いつでも、どこでも、誰でも」無理なくできるものです。皆さんも普段の何げないあいさつから始めてみませんか。愛育班活動に興味を持たれた人は、一緒に活動して「愛育の心」を広げていきましょう。

【第31回ひょうご愛育の集い】

が披露されました。ここで、皆さんに愛育とは何かを考える機会を持っていただくために、西村さんの手記（全文）を下段に掲載します。



▲井戸敏三兵庫県知事から表彰を受ける中村千恵子さん（村岡区長須）

い状態で、日本語も片言でしか話せない様子でした。近所の皆様も身振り手振りでの会話をしていました。

当初は閉じこもりがちで、地域の会合への参加もためらっておられました。声かけを繰り返す中で、次第に愛育班員が一緒だと安心だといつて、だんだんと喜んで参加してくださるようになりました。今では知人に「この人私の友だち」と紹介してくださり、「私と友だちになつてくれてありがとう」と話されます。

私とは年も離れていますですが、きつと話し相手が欲しかったのだと気がきました。積極的

に地域

に地域

に地域



皆さんの力が「ふるさと香美」を育てます

ふるさと納税制度のご紹介

●問い合わせ（申し込み）先 役場総務課

香美町ご出身の方をはじめ、全国から「ふるさと香美づくり」に多くのご協力をいただき、心から感謝いたします。

平成24年度の寄付金は1863件、1500万円でした。寄付金は町の基金に積み立て、ご寄付いただいた方々のご意向に沿うよう、まちづくりに役立てていく予定です。

今年度も引き続き実施しますので、ふるさと香美町に特別な想いをお持ちの皆さまをはじめ、香美町の施策や取り組みにご賛同いただける皆様からの温かいご支援をお待ちしております。

◇寄付の方法

電話などでご連絡いただければ、役場から「納付書」などの関係書類をお送りします。

◇住民税・所得税の控除

寄付をしていただいた額のうち2000円を超える分が住民税・所得税の控除対象となります。

◇町からのお礼

「ふるさと納税制度」で5000円以上寄付をしていただいた方には、町内の豊かな自然が育んだ特産品（2000円相当）をお贈りさせていただきます。



●平成24年度の用途別の寄付金額など

番号	項目	主な用途	件数	金額
①	将来を担う小・中学生の調和のとれた教育の推進と教育環境の整備	自然学校、ふるさと教育、トライやる・ウィークなどの実施	875件	607万円
②	多彩な資源を生かして観光対策の推進を図る事業	観光資源のPR、但馬牛食まつり、香住ふるさとまつりなどの実施	356件	324万円
③	山と海との特色ある産業の振興を図る事業	地産地消の推進、魚食普及、水産加工業などの支援	428件	338万円
④	活力ある福祉社会の創造を図る事業	子育て支援、地域見守り活動などの支援、妊婦検診支援、出産祝金の支給など	91件	149万円
⑤	町民と行政が一体となったまちづくり運動の推進を図る事業	花フェスタ、あいさつ運動などの実施、歴史文化講座、まちづくり活動などの支援	44件	37万円
⑥	幹線交通ネットワークの整備促進を図る事業	町道の新設、改良など	69件	45万円
合計			1,863件	1,500万円



全国大会出場・

海外研修費を助成

●問い合わせ先

町教育委員会生涯学習課

■全国大会出場費用の助成

スポーツや文化の全国大会（国外大会）に出場する場合、その経費の一部を助成します。

ただし、学校の部活動などで出場する場合は対象になりません。

●対象者

町内に住所がある人

●助成の額

経費の2分の1以内
（国内の場合は上限3万円、国外の場合は上限10万円）

■海外研修費用の助成

国際的で豊かな人間性を養うために海外研修などを行う場合、その経費の一部を助成します。

●対象者

町内に住所がある小・中学生や高校生

●助成の額

経費の2分の1以内
（上限10万円）





公立香住病院 職員募集

●問い合わせ（提出）先 公立香住病院事務局

平成26年4月1日付採用（正規職員）

●職種・採用予定人数・受験資格など

職種	採用予定人数	勤務時間	初任給月額	受験資格など
薬剤師	1人	8:30～17:15	大学6卒…220,200円 大学4卒…197,600円	昭和43年4月2日以降に生まれた人で、 薬剤師の免許を持つ人、または平成26年 3月末までに取得見込みの人
診療放射線技師	1人	8:30～17:15	短大3卒…174,600円	昭和43年4月2日以降に生まれた人で、 診療放射線技師の免許を持つ人、または 平成26年3月末までに取得見込みの人
臨床工学技士	若干名	8:30～17:15	短大3卒…174,600円	昭和43年4月2日以降に生まれた人で、 臨床工学技士の免許を持つ人、または平 成26年3月末までに取得見込みの人
看護師	若干名	8:30～17:15 (夜勤などあり)	短大3卒…188,900円	昭和43年4月2日以降に生まれた人で、 正看護師の免許を持つ人、または平成26 年3月末までに取得見込みの人
介護員	若干名	8:30～17:15 (夜勤などあり)	短大2卒…158,600円	昭和43年4月2日以降に生まれた人で、 介護福祉士の資格を持つ人、または平成 26年3月末までに取得見込みの人
医療事務職	1人	8:30～17:15	高校卒…140,100円	昭和59年4月2日以降に生まれた人で、 高等学校以上を卒業した人、または平成 26年3月末までに卒業見込みの人

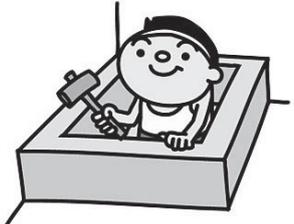
※初任給月額は基準額であり、前歴（学歴、職歴）によって加算があります。
 ※扶養手当、通勤手当、期末手当、勤勉手当などの支給があります。
 ※すべての職種において、免許および資格を取得する見込みの人が取得期限までに取得できなかった場合、試験に合格しても採用される資格を失います。

- 試験
 - ① 薬剤師、診療放射線技師、臨床工学技士、看護師、介護員
 - …9月29日（日）に事務能力検査、性格検査、個別面接を実施します。
 - ② 医療事務職
 - …9月29日（日）に第1次試験として教養試験、作文試験、事務能力検査、性格検査を実施し、10月27日（日）に第1次試験合格者に対してグループ討議、個別面接を実施します。
- ※詳しい試験日時などは応募者に対して個別に通知します（①、②いずれも）。
- 申込方法
 - 市販の履歴書（写真貼付）に免許または資格の写し（取得見込みの人はその証明書）を添付して提出してください。
- 提出期限
 - 9月9日（月）までの平日午前8時30分から午後5時15分の間提出してください。また、郵送の場合は9月9日（月）必着です。
- 発表
 - ①は10月下旬②は11月下旬に合格者に個別に通知します。



さとの空き家活用支援事業 町内全域が対象区域に！

●問い合わせ先
 役場企画課、県住宅政策課 TEL 078・362・3583



兵庫県は、現在空き家になっている木造一戸建て住宅において、居住するために水回りなどの改修をする人を対象として、その工事費の一部を最大100万円（上限3分の1）まで助成

する「さとの空き家活用支援事業」を募集しています。

今回、その対象区域が見直され、**町内全域が対象**となりました。

対象者は空き家に10年以上居住し、または活用しようとする人で、対象経費は台所、浴室、便所の改修工事とこれに付帯する内外装工事の経費です。

なお、募集期限は9月30日（月）ですので、お早めにお問い合わせください。

「認知症」を知ってほしい！

各種啓発講座を展開

一般的に、加齢とともに認知症になる人の割合は高くなるといわれ、65歳以上で10人に1人、85歳以上で4人に1人が認知症になっているという統計もあります。

本町では、高齢化率の上昇に伴い認知症になる高齢者の割合が増えています。75歳以上の介護認定申請時の認定疾患を見ると、1016人中335人、約3割の人が認知症と診断されていて、脳梗塞や高齢による衰弱より多くなっています（平成23年度主治医意見書）。

そこで、認知症の予防や早期発見とともに、より多くの人に正しい知識と理解を深めてもらおうと、町では次の啓発講座を展開しています。



① いいきいき講座

老人クラブやいいきいきサロンに参加している高齢者を対象に、認知症の予防や早期発見の重要性を啓発しています。また、本講座では転倒予防、生活習慣病予防、お口の健康、栄養学などについても講座を行っています。

② 認知症サポーター養成講座

認知症の人やその家族を温かく見守り、支援する「認知症サポーター」を養成する講座を開設しています。この講座は「認知症キャラバン・メイト」（認知症への理解を啓発するボランティア）が地域や職場などに出向いて行います。

「いいきいき講座」や「認知症サポーター養成講座」を受講して、認知症への理解の輪を広げましょう。

受講の受け付けは随時行っていますので、ぜひ皆さんの地域でも開催してください。



消費生活相談

賢い消費者になりましょう！

～リコール製品を使っていませんか？～

相談はこちらへ...

役場消費生活相談窓口(町民課内) TEL 0796・36・1941 (直通) たじま消費者ホットライン TEL 0796・23・1999 ※相談無料で秘密は厳守!!

【事例】使用中のエアコンの室外機から出火した。

【原因】室外機の内部に不具合があったため、ショートして発煙・発火したものです。

【事例】扇風機の首部分が折れた。

【原因】首部分の成型工程において、温度管理などが不適切で強度不足が生じた。このため、使用中の振動などで亀裂が発生したものです。

【事例】使用後の洗濯機で異音とともに出火した。

【原因】モーター用コンデンサーの製造工程で異物が混入したため、使用中に部品が劣化して電流が流れるようになり、発熱・出火したものです。

【ひとことアドバイス】

◇ご家庭の製品がリコール対象の場合、現在は問題がなくても、使っているうちに不具合が生じることがあります。

◇リコール製品の継続使用は危険ですので、ただちに使用を中止し、製造元に必ず連絡してください。

◇経済産業省ホームページ「製品安全ガイド」(http://www.meti.go.jp/product_safety/)でリコール情報を確認できます。





おしえて!

防災豆知識

●問い合わせ先
役場総務課防災安全室

津波の特徴を知っておこう!

PART 2

本誌第97号の防災豆知識コーナーに引き続き、今回も「津波の特徴」についてご紹介します。



恐るべし
津波の破壊力!

津波は恐るべき破壊力で人や家屋をのみ込み、すべてを奪い去ります。地上に押し寄せる波だけではなく、海へと引き返す波も大変強力なうえ、これらが何度も繰り返します。

東日本大震災では、津波が宮城県の上川を15kmも遡上していた



津波の強度による
被害程度は…

建築方法などによって家屋被害の程度は異なりますが、木造家屋では浸水1m程度から部分破壊を起し始め、2mで全壊するといわれています(左図)。

ことが確認されていて、海岸線だけでなく、内陸部の河川流域でも十分な警戒が必要であることを示しています。

◇津波波高と被害程度

津波強度	0	1	2	3	4	5
津波波高	1 m	2 m	4 m	8 m	16 m	32 m
木造家屋	部分的破壊	全面破壊				
石造家屋	持ちこたえる		全面破壊			
鉄筋コンクリート家屋	持ちこたえる			全面破壊		

※津波波高は地面から測った浸水深を指す
※空白部分はデータなし

新規漁業就業者激励会(6月28日、役場本庁舎) 漁業は「やりがいのある仕事」!

町の基幹産業の一つである漁業。この後継者育成の一助にしようと6月28日、役場本庁舎で「新規漁業就業者激励会」が行われ、出席者は操業中の苦労話を語りながら、浜上町長から激励を受けました。

前年度に町内で新たに漁業に就いた人を激励する同会は、今年で7回目。今回は、平成24年4月から今年3月末に就業した5人(但馬漁業協同組合香住本所所属船の3人と同組合柴山支所所属船の2人)が対象。出席したのは、柴進丸(香住本所所属、沖合底曳網漁船)の北元気さん(鳥取県八頭町)、盛山丸(同)の松本浩平さん(香住区香住)、登代栄丸(柴山支所所属、沖合底曳網漁船)の三田頌さん(香住区香住)、柴正丸(同)の本川佑樹さん(香住区下浜)。漁師として新たな一歩を踏み出した若者に対し「観光や水産加工業などの基本となるのが、皆さんが水揚げする魚やカニ。厳しい労働環境ですが、体に十分気を付けて町の発展のために頑張ってください」と浜上町長が激励し、作業用かっぱや長靴、ゴム手袋を記念品として手渡しました。

三田さんは「操業が始まれば仮眠程度しかできず、とてもしんどい。ただ、頑張った分、給料がいいのでやりがいがあります。船上ではさまざまなアクシデントがつきもの。どんな状況にも対応できるように、先輩の厳しくも温かい指導を糧にしなから、早く一人前になりたい」と意気込みを語ってくれました。



▲浜上町長から記念品を贈られる新規就業者の皆さん

緑の募金

今年度の緑の募金は、町全体で **1,372,351 円** でした（7月末現在）。多くの皆さんにご協力いただき、誠にありがとうございました。

この募金は、森林整備をはじめ森林ボランティア活動や町、集落、学校の緑化活動など、緑豊かな個性ある町づくりに役立てる計画となっています。

なお、緑化事業をご希望の集落はご相談ください。

●問い合わせ先 役場農林水産課

みなさんに



一にじゅうまる

第36回

香住ふるさとまつり

香住区内の各世帯にお願いしました住民協賛金の総額は **2,681,423 円** でした（当日募金分は含まない）。

また、花火大会終了後の清掃ボランティアにも多数のご尽力をいただきました。

多くの皆様にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございました。

●問い合わせ先 第36回香住ふるさとまつり総合委員会（役場観光商工課内）

文芸かみ

真砂俳句会 六月句会から
新温泉町健康公園「カナダ村」吟行句

（掲載は氏名の五十音順）

※このコーナーでは、香美町文化協会所属の各団体の俳句・短歌を毎月掲載します。

竹四本立ててて神事や海開き

有田美代子

あの山を越えれば因幡よ夏の月

今西政枝

新樹の香たちこめ朝のカナダ村

小川サヨ子

天に北斗地に蛙鳴くカナダ村

川端静子

この島は私の生き甲斐茄子の花

小柴光代

星涼しハイジの居そうなログハウス

駒居君香

日も水も満ちわたりたる青棚田

高橋二三子

カーテンの揺れも夏めくログハウス

谷脇政江

ログハウス開ける下より青田風

長扶微子

湯の町を抜け新緑のカナダ村

長谷川喜美

駄々っ子の日々に智恵つく七夕祭

福田恵津子

ログハウス並ぶ山中栗の花

村瀬美智子

青楓異国情緒のログハウス

森田淳子

◆定例会（香住文化会館）

4～10月 毎月第一土曜日 午後1時～4時

11～3月 毎月第一火曜日 午後1時～4時



こんにちは、赤ちゃん

この記事につきましては、関係者の皆さんにホームページ上での公開承諾を得ておりませんので、個人情報保護によりホームページ上での掲載を控えさせていただきます。

※このコーナーは、先月(6/21～7/20)の届出分の内、承諾を得た方のみ掲載しています。(届出順・敬称略)

お悔やみ申し上げます

この記事につきましては、関係者の皆さんにホームページ上での公開承諾を得ておりませんので、個人情報保護によりホームページ上での掲載を控えさせていただきます。

※このコーナーは、先月(6/21～7/20)の届出分の内、承諾を得た方のみ掲載しています。(届出順・敬称略)

求人情報

詳細はハローワークにおたずねください
(平成 25 年 7 月 22 日現在、順不同)

●問い合わせ先 ハローワーク香住

TEL 0796・36・0137

＜フルタイム＞				
職種	事業所名	勤務地など	年齢	人数
介護支援	㈱カマダグループ	香住区余部	不問	1
生産管理業務	テサントアパレル㈱村岡工場	村岡区高井	不問	1
機械設備保全			40以下	1
調理師	㈱鎌清商店	香住区香住	不問	1
営業	㈱出石モータース	小代区	不問	3
塗装工見習い	㈱ヒナタ塗装商会	村岡区市原	35以下	1
塗装工			不問	1
土木作業	㈱中川組	香住区香住	不問	1
看護	社会福祉法人 香美町社会福祉協議会	香住区無南垣	不問	1
大工職人見習い	㈱北村工務店	香住区若松	不問	1
講師ほか	㈱立志(京都進学セミナー)	香住区	35以下	1
現場作業	㈱西山工務店	香住区森	40以下	2
営業			40以下	1
水産加工	㈱カネト水産	香住区沖浦	不問	3
水産加工	㈱山増商店	香住区境	不問	1
繊維製品製造	㈱ライフアート	香住区森	45以下	1
看護	村瀬医院	村岡区村岡	不問	1
工場内作業	㈱カネサ	香住区境	不問	1
製造包装	㈱蔵平水産	香住区七日市	60以下	3
嘱託介護	社会福祉法人 みかたこぶしの里	村岡区川会	不問	1
水産加工	㈱もりひろ商店	香住区香住	65以下	1

＜パートタイム＞				
職種	事業所名	勤務地など	年齢	人数
接客	㈱鎌清商店	香住区香住	不問	1
レジ・品出し	㈱トヨタ	トヨタ香住店	18以上	1
品出し		㈱カマダグループ 香住店	不問	2
調理補助兼配食	社会福祉法人 香美町社会福祉協議会	小代区忠宮	不問	1
訪問介護	たじま農業協同組合	町内	不問	2
食品製造	香住食研㈱	香住区下岡	不問	3
配達	ヤマト運輸㈱	香住区大野	不問	1
接客	㈱香住観光公社(ファミリー今子浦)	香住区境	不問	2
看護師	社会福祉法人 兵庫県社会福祉事業団ひまわりの森	香住区森	不問	1
訪問ヘルパー	社会福祉法人 香美町社会福祉協議会	香住区森	不問	1
訪問ヘルパー		村岡区村岡	不問	1
水産加工	㈱山増水産	香住区境	不問	2
接客	ローソン香美町香住店	香住区香住	不問	4
販売	㈱コメリ中四国地区本部	村岡区大糠	不問	1
調理補助	㈱むらおか振興公社	村岡区アガ-デコ	不問	1
精肉加工			不問	1
事務	㈱西村モータース	香住区若松	不問	1

編集後記

暦の上では立秋。でも、まだまだ「秋」とは言えない暑さが続いていきます。「暑いですねー」と口に出しても暑さは和らぎませんが、会話冒頭の「暑いですがねー」の後に「涼しくなってますねー」とさまざまな言葉が続くのでしたが、そうしたちよつとした声かけは誰にでもできそうな気が、声をかける側の少しの勇気と笑顔が、声をかけられた側にとって素晴らしいプレゼントになるのでしょうか。今回の愛育の記事は私自身も学ぶべきことが多いものでした。(みうら)

写真でつづる
まちのできごと

Photo News



3市2町が手を携えて 但馬の明るい未来を！

新温泉町と豊岡市が「但馬定住自立圏の形成に関する協定」を締結
(7月1日、豊岡市立日高健康福祉センター)

市町域を超えて共通の課題に取り組みようと、豊岡・養父・朝来・香美の3市1町が昨年締結した「但馬定住自立圏の形成に関する協定」。7月1日、新たに豊岡市と新温泉町が同協定を締結し、但馬の全市町が新たなネットワークを構築しました。

この協定は、各市町が持つ課題を①医療や産業振興などの生活機能の強化②公共交通施策や地域内外との交流促進などの強化③協定締結市町の職員育成の3つの視点から整理したうえで、その克服に向けて豊岡市を中心市として各市町が連携を強化するもの。新温泉町は昨年3月に鳥取・若美・若桜・智頭・八頭の1市4町と「鳥取・因幡定住自立圏の形成に関する協定」を締結、但馬地域での協定締結も模索していました。今年6月に豊岡市と新温泉町の議会で協定締結議案が可決されたことを受け、この日を迎えました。

中貝宗治豊岡市長と岡本英樹新温泉町長の調印の後、中貝市長は「ジオパーク、ドクターヘリ運用は言うに及ばず、3市2町の深いつながりは以前からあった。だが、今回の協定締結が新たな枠組みの『形』を与えてくれた。少

子化対策を図るうえで重要な独身男女の出会いの場の提供、住民の要請に応えられる市町職員の育成など取り組むべき課題は多い。この協定締結を契機に『但馬は一つ』の考えで連携を深めたい」とあいさつ。オブザーバーとして出席した浜上町長も「但馬3市2町が一丸となって課題に取り組む体制が確立した。今後手も手を携えて、但馬の明るい未来を目指したい」と抱負を語りました。

今回の協定を受け、具体的な連携事業を掲げる「定住自立圏共生ビジョン」を秋ごろに変更し、但馬地域の団結力をさらに強固なものとする予定です。



▲協定の調印を終えて団結を深める5市町長
(左から広瀬栄養父市長、中貝宗治豊岡市長、岡本英樹新温泉町長、多次勝昭朝来市長、浜上勇人香美町長)

清流を守るためにできることは…

第23回射添・矢田川まつり(7月13日、村岡区長瀬「天平公園」)

毎年恒例となる「射添・矢田川まつり」(同実行委員会主催)が7月13日、村岡区長瀬の天平公園で行われ、清流にちなんださまざまなイベントを通して、訪れた多くの人が、清流や自然と共生することの大切さを体感していました。

今回で23回目を迎えるこの祭りのテーマは「とりもどそう清流を 自然との共生をめざして」。射添小学校少年少女音楽隊20人の演奏がオープニングを飾った後、同小6年生の浅田太陽くん(村岡区原)と田中桜和子さん(同区相岡)の2人が環境作文をそれぞれ披露。「ゴミを捨てても平気な人がいて、矢田川が泣いている。地域の皆さんが協力してゴミを拾い、昔のように魚がいっぱいのきれいな矢田川を」(浅田)、「少しでもなら大丈夫と思って行うポイ捨てが川を汚している。私たちのふるさとの川、きれいな水、そして小さな生き物のすみかを守るためにも、みんなで気を付けることが大切」(田中)と会場に呼び掛けました。

地元有志によるアユの塩焼きやイカ焼き、かき氷などの販売のほか、アユの放流やニジマスのつかみ捕りなど、川に親しむイベントも。ニジマスのつかみ捕りでは、服を濡らしながらも多くの子どもたちが目を輝かせてニジマスを追っていました。逃げ足の早いニジマスに悪戦苦闘しながらも、ようやく捕まえることのできた子どもは「つるつるして難しかったけど、とても楽しかった」と大満足の笑顔を見せてくれました。



▲大きいニジマス捕ったよー！

2日間にわたる香住の熱い夏!

第36回香住ふるさとまつり

(7月27、28日、香住浜海水浴場周辺)

昭和53年に始まり、今年で36回目を迎えた「香住ふるさとまつり」が7月27、28日の2日間にわたり香住浜海水浴場周辺で盛大に行われました。

初日に行われたオープニングステージで祭りは開幕。よさこい踊りやスケートダンス、空手演舞など計10団体による華やかなステージが繰り広げられた後、県立高砂高校ジャズバンド部のジャズ演奏が祭りの雰囲気を一層盛り上げ、余韻冷めやらぬ中、海上花火大会へ突入。計2500発の大輪が漆黒の日本海を染め上げ、多くの人がその美しさに息を飲んでいました。

翌28日の「うみのひろば」では、こども大会やフリーマーケット、各種バザーが行われたほか、名物「たらいこぎ大会」も。チーム対抗のリレー競技で、1チーム6人で構成。2人1組で直径約1・2m、深さ約60cmの大きなたらいに乗り込み、沖合20mにあるブイを回り次のペアにタスキをつなぐもの。町内外から37チームが出場しました。

出場者は転覆しないようにバランスを取るのに「苦労。必死にオールをこぐものの、なかなか前には進みません。「たらいこぎ」の言葉のごとく、同じ場所をぐるぐる回るペアや、白波に飲まれて海の藻くずとなる珍プレーも続出。出場者の真剣な表情とは裏腹に、波打ち際には観客からの大きな歓声と笑い声が絶えませんでした。



▲バランスを取りながらゴールを目指す出場者

限界に挑戦、山岳疾走350人!

第1回姫米タル・瀬川平トレイル30キロ(7月14日)



▲アップダウンの続く林道と格闘

い山林を楽しみながらも、未舗装路が主体でアップダウンの激しいコースを各自のペースで疾走。壮大な「自分の限界に挑戦」する旅を味わいました。

このエリアでは平成22年から「OSJ氷ノ山山系トレイルレース」が行われていますが、コース全長が70・80kmと長いうえに、日が昇らないうちにスタートし、ヘッドライトの明かりだけを頼りに過酷なコースに挑むことから、出場者は全国を転戦する実力者ばかり。そこで初心者でも参加しやすいよう、コース難度や距離を抑えた今回のレースが創設されました。

出場したのは350人。北は岐阜県、南は熊本県から選手が集まり、最高齢は男子69歳、女子68歳。午前9時、スターターを務めた浜上町長の号砲とともに兎和野高原野外教育センターをスタートした選手は、瀬川稲荷を皮切りに、瀬川・鉢伏の両山頂を経由し、とちのき村からゴールの兎和野高原野外教育センターを目指しました。途中、このレースのために整備した笹尾根コースでは、間近に鉢伏山を望むことができるほか、鉢伏山登山道では、氷ノ山を背景にすることも。高低差約700mのコースで、制限時間は8時間。完走者は326人。約93%の完走率の中、3時間28分02秒のタイムで優勝した川原章義さん(篠山市)は疲れを感じさせることなくゴールテープを切っていました。

選手の中には「トレイルランニングは初参加。30kmなら大丈夫と思っていたが、マラソンとは違い、とても厳しかった。でも、普段味わうことのない解放感がたまらないし、自然と一体となったような気がした」と語ってくれました。



▲野道を駆け下りる選手

役場各課など 主な施設の連絡先

役場本庁舎	36・1111(代表)
総務課	36・1111
財政課	36・1942
企画課	36・1962
税務課	36・1113
会計課	36・4321
町民課	36・1110
消費生活相談	36・1941
健康課	36・1114
福祉課	36・1964
農林水産課	36・0846
観光商工課	36・3355
建設課	36・1961
上下水道課	36・0420
議会事務局	36・1963

村岡地域局 94・0321(代表)
小代地域局 97・3111(代表)

町教育委員会 94・0101
香住区中央公民館
(香住区生涯学習センター)
36・3764
村岡区中央公民館
98・1366
小代地区公民館
(小代区地域連携センター)
97・3966

公立香住病院 36・1166
公立村岡病院 94・0111

香住文化会館 36・1026
香住老人福祉センター 36・5008
村岡老人福祉センター 98・1000
小代高齢者生活支援センター 97・2202

(すべての施設の市外局番：0796)

まちのうごき

(平成25年7月1日現在)

合計	20,017人 (-20)
男	9,586人 (-11)
女	10,431人 (-9)
世帯数	6,821世帯 (-6)

カッコ内は前月比



◇問い合わせ先 町教育委員会生涯学習課

小代神社の文化財群と 八反滝

今回ご紹介するのは、小代区の秋岡・新屋の2集落にある町指定文化財です。

秋岡集落には、太陽を神格化した天照大神をまつた小代神社があり、この境内に町指定文化財の巨木「燈明杉」があります。境内東側の小高い尾根で存在を示すこのスギは、幹が中ほどから2本に分かれている双幹で、名前の由来は今から400年ほど前にさかのぼります。ある日、大阪からこの地を訪れた信仰心のあつい人が「神の霊を与える」と夢の中でお告げを受けたそうです。数日後、そのお告げどおり、このスギの上に明かりを見たことから燈明杉と名付けられたと伝えられています。



▲燈明杉



▲小代神社の巨木の一つ、ハリギリ



▲八反滝

燈明杉以外にも、小代神社境内には多くの巨木が林立していて、それらは「小代神社の巨木群」として町指定文化財に指定されています。なかでもハリギリは、高さ29m、幹回り約3mと県内の同樹種の中で一番の大きさを誇っています。

境内にある池も町指定文化財で、モリアオガエルの生息地となっています。モリアオガエルの特徴はその卵の産み方にあります。通常、多くのカエルが水中で産卵しますが、モリアオガエルは池や水たまりの上に張り出した木の枝に卵塊(卵の塊)を産み付けます。こうして枝に産み付けられた卵は数週間ですふ化し、オタマジャクシはそのまま枝の下にある池や水たまりに落ちて成長します。モリアオガエルは、県内絶滅危惧種を掲載した兵庫県版レッドデータブックで「Bランク」に位置付けられ、絶滅の危機が増している種として保護されています。

さて、秋岡集落から矢田川を挟んだ対岸に新屋集落があります。新屋集落の美方高原自然の家「とちのき村」の手前を左に進むと、町指定文化財「八反滝」が見えてきます。高さは約32m、上部は鉢伏山を形成しているものと同じ安山岩、下部は岩石の破片が堆積してできた礫岩で構成されています。このことから、八反滝は約300万年前の鉢伏山の火山活動によってできたと考えられています。

暦の上では秋の気配が現れてくるという立秋を迎えましたが、まだまだ暑い日が続きます。涼みがてらにこれらの場所を訪れてみませんか。



▲モリアオガエルの生息地と卵塊